

臨床研究「消化管再建術後症例に対するバルーン内視鏡を用いた胆膵内視鏡治療の有効性と安全性  
に関する観察研究」について

筑波大学附属病院消化器内科では、標題の臨床研究を実施しております。  
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

消化管手術後の患者さんに対するバルーン内視鏡を用いた胆膵内視鏡治療の効果、安全性を確認することを目的としています。

② 研究対象者

2012年1月より2027年12月までに当院でバルーン内視鏡を用いた胆膵内視鏡治療を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年12月31日まで

④ 研究の方法

バルーン内視鏡治療を用いた胆膵内視鏡治療の前後の診療録から情報のみ収集して解析を行います。本研究のために新たに追加する検査や検体を用いた解析は予定しておりません。

⑤ 試料・情報の項目

治療経過における血液検査所見（血算、肝機能、腎機能など）や画像検査所見（内視鏡およびCTもしくはMRI検査など）、合併症の種類や程度について収集いたします。患者さん個人に結び付く情報は扱いません。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究は筑波大学のみで実施します。第三者への情報の提供はありません。研究結果は学会や学術雑誌に公表いたしますが、その際にも効果が得られた方がどの程度いらっしやっただかなど、個々の患者さんの情報が分からないように解析結果のみ公表いたします。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系 消化器内科 講師 長谷川直之

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：診療科 消化器内科 担当：長谷川直之

電話・FAX：029-853-3218 「平日9～17時」